

きほく
鬼北町

議会だより



第6号
令和6年9月

目次

- P2～ 令和6年度当初予算
- P4～ 町政を問う 一般質問
- P11 町民の声
- P12～ 議会で決まったこと
- P15～ 研修報告
- P17 議会活動報告
- P18 編集後記ほか

令和6年度当初予算

一般会計 84億4000万円

(対前年度比 7億7600万円減 (△8.4%))

基金(貯金)と町債(借金)の状況

(令和5年度末一般会計分) (令和6年3月末人口: 9248人)

貯金

50億4510万円

町民1人あたり
54万円



借金

120億8188万円

町民1人あたり
130万円

貯金の推移

令和4年度末 52億6585万円
令和3年度末 46億8075万円

借金の推移

令和4年度末 103億9301万円
令和3年度末 82億7692万円

特別会計予算: 計34億1152万円

用品調達特別会計	1442万円
国民健康保険特別会計	13億6102万円
国民健康保険診療所特別会計	1億7042万円
介護保険特別会計	16億5224万円
後期高齢者医療保険特別会計	2億1341万円

企業会計予算: 計20億9138万円

水道事業会計	7億4191万円
病院事業会計	10億7750万円
下水道事業会計	2億7196万円

観光まちづくり推進に

1540万円

観光まちづくり推進顧問に指導・助言をいただき、町内観光商品の造成、観光に特化したホームページ制作、観光まちづくり法人の設立支援等の観光まちづくり推進業務を実施。

携帯電話等エリア整備業事業

4138万円

観光施設があるエリア(安森と節安)を対象に携帯電話基地局施設を設置する事業を実施。

DX推進事業

3925万円

証明書類等コンビニ交付・書かない窓口

「ゼロカーボン」の実現 重点対策加速化事業

1655万円

太陽光パネル、蓄電池設備設置事業

成川溪谷休養センターを修繕

2662万円

- 外壁等塗装、ベランダ修繕
- ロッジ擁壁工事



〈成川溪谷休養センター〉

電子通貨決済システム構築

1172万円



〈電子マネー“キホカ”〉

帯状疱疹予防接種補助事業

512万円

50歳以上の方を対象にワクチン接種経費を補助

ジビエ施設等の整備・管理

7193万円

- 施設指定管理委託料 630万円
- 工事請負費 4294万円
捕獲鳥獣一時保管施設整備等
- 機械器具費 2269万円
運搬用車両導入等



〈ペットフード処理加工施設〉

認定こども園ゆすっこ施設整備事業

4億9366万円

完成予想図はP14ページを参照

病児保育施設整備事業

5159万円

旧近永保育所施設を改修

子ども食堂運営補助事業

105万円

子ども食堂開設・運営経費を補助

当時と現在の水道料金がなぜ同じままなのか

H15からH19までの財政収支計画に基づいて算定している



兵頭 稔

答 給水原価は、193.1円。供給単価は、272.1円。

問 給水ではなく供給単価を200円くらいにしたらどうか。

答 給水原価も供給単価も指標であり、数値的には問題がある数字ではない。

適正な水道料金について

問 前回、適正な料金であり、高くないと回答をした根拠は。

答 水道料金改定理由・改定の基本方針等の資料を作成精査し、算定しており、その内容を議会で説明した上で議決をいただいている。決算審査においても検証していただき、特段の指摘事項はない。

問 2億8,000万近くの収入を、流動資産になぜ持って行かなかったのか。

答 当町の流動比率は100%しかなく、決算審査においても低いという指摘を受けているので、それをもって経営状態をどうにかする方法はない。

問 前年度繰越利益剰余金を預金の方に回さないから流動比率が悪くなるのではないか。

答 人件費、消耗品等だけでなく、整備をした施設の負の部分も計算をし、20年、25年のスパンで計画をしている。合併当時に、日吉の方から料金が高いというご不満があったことは承知しているが、県内の市町では料金が上がっているが、当町では上げていないということもご理解いただきたい。

問 同じ量を使って、鬼北町では5,090円、松山市では2,700円で、鬼北町ではなぜそれができないのか。

答 人口密集地だったらできると思うが、散財した地域すべてを賄うにはそれだけの管が必要である。

問 松野や久万高原も3,800円台であるが。

答 当時全ての施設をやり替えているため100年スパンの中で一気に上がるのは仕方がないと思う。他の市町も大きな工事をしたら、上げざるを得ないところもあるのではないかと。

問 当時と現在の料金がなぜ同じままなのか。

答 平成15年度から19年度までの財政収支計画に基づいて算定している。

問 令和3年度の給水原価と供給単価を問う。

以上が、令和5年3月の定例会での質問に対する答えですが、水道法及び水道法施行規則は遵守されていないと思われるのでこれからも追求していきます。

鬼北町の子育て支援は

家庭における育児・子育て支援に努める



中山 定則

子育て支援は、子育てしやすい環境を整え、家庭が抱えている不安を解消するための施策です。

問

鬼北町子育て支援センター「おにっこ」について、今年度(2月末まで)の相談件数及び多かった相談内容は何か。

答 2月末までに寄せられた相談件数は79件で、多かった相談内容は、育児相談、発育・発達に関する相談、乳児健康診断に関する相談、出産世帯応援補助金に関する相談、産後ケアに関

する相談であった。

問

今年度(2月末まで)子育てLINE相談の利用は何件あったか。

答 2月末までの利用実人数は85人で何度も利用されている方が多いため、利用件数については把握できていない。

問

子育て支援ヘルパー派遣事業の登録者が2名と少ない理由は何か。

答 子育てをする上で、夫婦間や祖父母等の協力が得られるかどうかの状況は、それぞれの家庭環境によって異なるため、派遣事業の登録者が少ない理由の判断は難しいが、家族などから何らかの援助があり、家事・育児に困難を感じていない、また、困難を感じていても、ヘルパーさんが、家庭内に入ることに抵抗を感じるなどの理由で、利用

者が少ないのではないかと推測する。今後も、保護者の方々が頑張りすぎてしまわないように、利用できる子育て支援事業を、活用していただけるよう検討していく。

問

新園でリニューアルした子育て支援センター「ゆめぼっけ」の現在の登録は何名か。

答 令和5年2月末現在で47名の方が登録され、地域の子育て家庭における育児支援の拠点として、利用いただいている。また、利用状況は、今年2月末現在で、1675名の方がご利用いただいている。引き続き「育児不安等」についての相談及び援助」や「子育て家庭の交流促進」、また、子育て専門講師による講習を実施するなど、家庭における育児支援に取り組んでいく。

問

ファミリーサポートセンターを設立する考えはなにか。

答 令和6年度に、「第3期鬼北町子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、アンケー

ト調査を実施する予定であり、保護者のニーズを把握するとともに、「ファミリーサポートセンター」を持続的に運営していくことが可能かどうか検討し、より一層、子育て支援の充実に努めていく。

問

ファミリーサポートセンターは、県内全市と砥部町、松前町で設置されている。町内にも援助を行いたい人、サポート会員になりたい人おられる。アンケートの結果では32.6%の設立要望しかないが、宇和島市、砥部町、松前町の運営状況を再度調査する考えはないか。

答 子育て支援ヘルパー派遣事業の登録者が増えてくれば、サポートセンターに移行すると思うが、人材確保の不安材料もあるので、それも併せて検討していきたい。



巨大地震発生時の備えは 出来る限りの対応を行う



末廣 啓

問 道路の陥没、土砂崩れ等で孤立集落が発生した時の対応は。

答 建設業者等の協力による早期復旧とヘリポートの活用による人命救助や物資搬入を行う。

問 ヘリが使えない時は。

答 食料等、歩いて持っていくことも考えている。

問 鬼北町の住宅耐震化率は。

答 平成28年度で64.9%である。

問 補助金制度を使って、耐震診断を受けた件数、耐震工事を実施した件数は。瓦屋根の改修に関わる補助制度はないのか。

答 耐震診断が34件、耐震工事が5件となっている。瓦屋根の改修については、特化した補助制度がある。

問 津波の影響を受ける自治体から避難所提供を求められたら。

答 対応マニュアルは策定していない。

問 ペットを連れての避難所利用は可能か。

答 指定避難所における家庭動物のためのスペース確保に努めることとしている。

問 被災地派遣職員の報告会を町民を交えて行ったらどうか。

答 町民の方々の要望に応じて随時開催したいと考えている。

漬物生産者への支援策を 補助制度を創設する

問 町内2カ所の道の駅に出荷する漬物生産者は何名か。

答 森の三角ぼうしが14名、日吉夢産地が15名である。

問 どんな漬物を出荷しているのか。

答 たくあん、梅干し、白菜、カブ、ラッキョウ、キュウリ、高菜、小松菜、クレソンなど。

問 それぞれの道の駅での、漬物だけの売上げはどれくらいか。

答 令和5年の売上げは、森の三角ぼうしが64万2000円、日吉夢産地が145万7000円となっている。

問 現出荷者で衛生基準を満たした上で、製造を継続される生産者はいるのか。

答 森の三角ぼうしで2名、検討の方が1名、日吉夢産地においてはおられない。

問 補助金制度を設けて救済する考えはないか。

答 施設改修費用や設備の購入費等に対する補助制度を創設する。

問 手厚い補助金制度を設けていただき、救済してほしい。

答 令和6年度の当初予算に計上した上で、できる限りのことはやっていきたいと考えている。

問 自然災害時の対応マニュアルは、いつ策定されたものか。見直しの頻度は。

答 平成19年に策定し、これまでに2回改正を行っている。

問 もう少し密に見直してはどうか。井戸水の利用はどうか。

答 見直しの時期は検討したい。井戸水は、提供を依頼している。

問 マニュアルを基に訓練したり、会議を開いたりしているか。

答 毎年実施するよう見直しを行った。

上水道施設の耐震化は進んでいるのか

順次、耐震管に更新していく計画である

中山 定則

豊後水道を震源とする地震が4月17日起きました。上水道施設の耐震化は進んでいるのかなど令和6年6月定例会で一般質問しました。

問

豊後水道を震源とする今回の地震で水道施設に被害はなかったのか。また、上水道施設の耐震化の推進計画を問う。

答 一か所、清水下組で町道に埋設している20ミリの給水管が離脱して漏水が発生した被害があった。上水道施設の耐震化は、当面、布設後40年を経過している基幹管路の更新を補助事業で実施し、配水管については、起債を活用して、順次、耐震管に更新していく計画である。

問

令和4年度決算で有収率（給水する水量と料金として収入のあった水量との比率）は、74・44%であるが、令和13年度に81・1%まで上げる取組について問う。

答 老朽管の布設替の推進とともに、漏水調査を徹底して実施し、漏水箇所の特定期間に行うことにより、漏水量を削減し、有収率の向上を図る計画である。

問

鬼北町水道事業経営戦略のとおり81・1%にしていく計画になっているのか。

答 老朽管の布設替え、さらなる漏水調査を徹底して、できる限り目標値に近づけていくよう努力をしているところである。

問

物価高騰は継続している状況であるが、水道料金

の基本料金1870円を令和6年1月分、2月分の2回を物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源として減額されたが、再度行うことはできないか。

答 今後、国において同様な交付金が創設されたら、水道料金の軽減も含めて、対象事業の中で最も有効であると考えられる物価高騰対策を実施する。

問

水道料金収入は、愛媛県内で2番目に高い設定であり、高齢化率が年々上昇して、高齢者への負担増につながることを考慮し、当面は水道料金を改定しない計画になっている。物価高騰に対する支援としては、良い施策だと思いが、再度、ほかの財源を探してでも行う予定なのか。

答 物価高騰という面で、先ほど答弁したように、ほかの施策も含めて必要だと考える場合には、すぐさまやってみたい気持ちである。

令和3年12月に作成された鬼北町水道事業経営戦略（改訂版）をPDCAサイクルを活用して、推進してほしいと思います。



<中央監視室（奈良下組）>

水道配水管の耐震化工事の状況について

40年超の個所から順次実施

兵頭 稔

問 平成15年〜令和5年までの工事内容と経費について。

答 総工事事件数は1221件実施、経費は27億3804万1000円である。

問 工事の耐用年数はどうなっているのか。

答 減価償却 耐用年数は、導水設備50年、浄水設備60年、配水設備60年、配水管は40年、電気設備20年、ポンプ設備15年、計測設備10年などとなっている。

問 いろいろ配水管等の耐用年数があるが、水道事業が始まったのが昭和34年頃からだと思われる。水道工事を平成15年に川上地区で実施しているが、耐用年数が60年の経過があったから行ったのか。

答 川上地区の配水管等の布設替え工事であり、布設後40年以上経過し漏水が著しく多くなってきたため、国庫補助事業を使って整備を実施した。

問 工事契約はどのような契約方法で行っているのか。

答 1221件の工事契約のうち一般競争入札4件、指名競争入札88件、随意契約29件である。

問 一般競争入札の4件の入札会社は何社あるか。

答 一般競争入札の場合は、公告を事前に行い、この条件で工事できる業者になるため、2社、3社の応募があった。

問 指名競争入札も88件ありますが、一般競争入札のように同じ会社と考えて良いか。

答 その都度決済を受けて、適当と思われる業者を選んで選定して指名競争入札を行っている。指名に入っている業者が限られており、その中で条件に合う業者になるので、重なることは多かつたと思われる。

問 耐震化工事は、平成20年からになっているが、平成7年、平成11年と大震災が2回もあったにも関わらず、それまでの工事が耐震化になっていないのはなぜか。

答 その当時は、これ以上水道料金を上げるわけにいかないで、できるだけ地震の被害の少ない管路を用いて計画的に行うよう指示があったので、耐震管とせず、極力、铸铁管の割合を増やして施行した。

問 耐震管工事と、普通の工事の工事費の割合はどれくらいか

答 倍まではいきませんが、1.8倍ほどは違ってくると思われる。

問 工事内容の資料によると、旧広見町の所ばかりで旧日吉村の工事が実施されていないが、日吉地区は替えなくても大丈夫か。

答 日吉地区においては、平成7年から8年にかけて配水管布設工事が行われており、現状まだ40年までは届いておりませんので、工事が行われていない。

問 日吉地区は、耐震化がさされていないということなので、今後、こちらの工事が終われば取り組むと解釈してよろしいか。

答 6年度から、40年超えている箇所が下鍵山に一部あるので、下鍵山を中心に3年かけて実施する予定になっている。そのあと順次、耐震管に交換していく計画である。



<大藤浄水場>

「コミュニティとしての神社に補助を
上限50万円の補助を実施・文化財としての登録を



山本 博士

神社仏閣について

問

地域コミュニティとしての神社に対し、改修工事等への補助ができないものか。

答

文化財保護委員会の意見を踏まえた上で、総合的に判断し、町内で保存伝承を図る文化財については、神社も含めて、文化財指定・未指定に関わらず、保存・伝承事業に必要な経費が10万円以上の場合には、改修工事費等として、補助対象費用の2分の1以内で、上限50万円を補助している。
なお、町内には、現在、神社

問

31社、仏閣23か所があり、地域の方々が維持管理を担い、連続と継承されているのが現状で、大規模改修工事の対象となる建物、文化財として指定されている神社は現在のところない。

確かに鬼北町文化財保存伝承事業費補助金交付要綱として、平成26年4月より施行されている。正式な神社仏閣として改修していくには、何千万という多額の費用がかかり、少々の補助では改修できなく、取り壊して、小さなほこらを建てるしかできない状態である。鬼北町としてそれでよいのか。早急に、鬼北町の神社仏閣を調査し、歴史的な文化財としての価値があるのであれば、国にも申請をし、保存伝承すべきではないか。

答

平成31年4月に改正文化財保護法が施行され、市町村の

農地の利用について

問

農地に太陽光発電の許可をされる際、町外の方にも境界外の隣接する農道、水路、排水路、河川の草刈りを最低年2回行っていただけのよう、契約の際、文書で義務づけることはできないものか。

答

農地法に基づき審査・判断を行う農業委員会としては、隣接地の草刈り等を義務づけることは、現在のところはできない。具体的な作業内容まで踏み込んだ義務を課すことは難しいとは考えている。今後、設備の適正な設置や維持管理など、必要な事項を定めた条例等の例規の整備を行い、住民の皆さんの安全な生活や自然環境の保全に努めたい。

問

条例等で整備をするということだが、令和6年3月の新聞に「太陽光発電市町村、41%トラブル」という記事があった。355市町村でトラブル、雑草が生い茂り、管理が不十分。排水設備などが未設置など、様々なよう。鬼北町はゼロカーボンシティ宣言をしている。今後も太陽光発電は、広がっていくと思うが、地域住民の皆様には迷惑がかららないようなルールづくりが必要では。

答

町民の方から直接お話を聞いて、この重大さを痛感しております。9月の議会にはその条例を出したいと考えている。



<天満神社 (奈良下組)>

消防団員のなり手不足を問題視

条例定数の見直しを協議する



芝 照雄

組織編成の考えはあるか

問 令和6年6月現在での各部の消防団員の充足率と、町全体の団員数を問う。

答 町全体では、定数567人に対して実人数384人で、充足率は67・7%。(各部の詳細は表1のとおり)

問 消防団組織編成・条例定数の今後の考えは

答 消防団の各部の運営自体や消防車両・ポンプ等の運用に支障が出ないよう、地域の実情に

応じて消防活動の効率化を図るため、消防団幹部会等において協議を行い、地域の意向を踏まえた上で、組織編成の見直しを含めて、条例定数の見直しを行っていききたい。

問 機能別消防団の導入は

答 県内の市町でも機能別消防団員制度の導入が進められており、当町においても活動内容や入団要件等について、消防団幹部会・消防委員会等で協議を行い、早期に導入できるように取組を行っている。

定数を減らせば各部の活動に支障が出る恐れがあると思います。そこで、消防団員OBの方々でまだまだ消防活動に参加できる方の機能別消防団員制度を導入して住民の安心と有事の際の迅速の対応することが大事だと思います。

近いうちに起こりうる
東南海地震を見据て

今現在の消防活動は少ない団員の中、出来る限りの活動をして頂き、後押し出来るのが、機能別消防活動員の存在ではないでしょうか。

	定数 (人)	実人数 (人)	充足率 (%)					
			全体	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部
第1分団(近永)	115	99	86.0	71.4	111	75.8	80.7	116
第2分団(好藤)	61	47	77.0	83.3	64.0	77.7		
第3分団(愛治)	80	39	48.7	73.3	66.6	30.3	35.2	
第4分団(三島)	81	66	81.4	72.2	92.3	83.3	69.2	78.9
第5分団(泉)	78	51	65.3	75.0	57.1	50.0	61.1	
第6分団(日吉)	125	59	47.2	68.0	37.5	62.5	32.5	40.0
本 団	27	23	85.1					
全 体	567	384	67.7					

<表1>

鬼北町の抱える問題に関する提案

伊勢本 恵



神奈川県で生まれ、三十歳まで愛媛へは帰省するのみでしたが、三十歳をむかえ、愛媛に移住、約15年前から鬼北町に住んでいます。

現在子育て中で、地域の環境、近隣の方々の見守りなどに助けられている状況です。

神奈川県出身の私からみて、鬼北町は子育て世代にとっても良い場所であると思います。

しかし、若い世代の人達に、その鬼北町の魅力が充分に伝わらず、少子高齢化が加速していると感じています。

少しでも若い方達に知ってもらい、移住してもらえようように対策することが必要なのではないのでしょうか。

私の周囲で聞こえている声を参考に以下の提案をしたいと思っています。

【提案①】

Wi-Fi環境・光回線の多様化

現在、光回線はケーブルテレビの一家となっています。

ネット環境は若者にとってインフラなので一社に絞ってしまいうより、他の事業者にも入ってもらい、安定した状態を保ち、品質向上に努めていただきたい。

【提案②】

鬼北町公式ユーチューブの再

生回数向上



現在の鬼北町ユーチューブチャンネルの再生回数が1万を超えるものがないようです。

せっかくゆるキャラもあるので、成功している市町村のチャンネルを参考にバズる投稿をお願いします。

【提案③】

鬼北町のイベントにお笑い芸人をキャスティング

鬼北町でのイベントのゲストはほとんど演歌歌手の方ですが、他にも芸人さんをキャスティングされたら若い方も近隣の市や町から来られたり、宣伝になると思います。

人口の構成上、今の状態が集客を見込めるかもしれません

が、今後は若い方の移住対策も必要であると考えます。

これらが私の周囲で話題として上がっているものになります。よろしく願います。



議会で決まったこと

令和6年2月9日に第1回鬼北町議会臨時会、令和6年3月7、8、25日に第1回鬼北町議会定例会及び令和6年6月14日に第2回鬼北町議会定例会が開催されましたので、その議決結果を報告します。

第1回臨時会 議決結果(令和6年2月9日)

承認第1号	町長の専決処分(令和5年度鬼北町一般会計補正予算(第7号))の承認について	承認
議案第1号	鬼北町手数料条例の一部を改正する条例について	可決
議案第2号	鬼北町北宇和病院の指定管理者の指定について	可決
議案第3号	工事変更請負契約((5)防安金 町道弓滝線弓滝橋歩道橋上部工工事(その1))の締結について	可決
議案第4号	工事変更請負契約(鬼北町立広見中学校改築工事(建築工事))の締結について	可決
議案第5号	工事変更請負契約(鬼北町立広見中学校改築工事(電気設備工事))の締結について	可決
議案第6号	工事変更請負契約(鬼北町立広見中学校改築工事(空調衛生設備工事))の締結について	可決
議案第7号	工事変更請負契約(史跡等妙寺旧境内平坦部A保存整備工事)の締結について	可決
同意第1号	鬼北町教育委員会委員の任命について	同意

第1回定例会 議決結果(令和6年3月7日~25日)

議案第8号	鬼北町福祉基金条例の制定について	可決
議案第9号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決
議案第10号	鬼北町空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第11号	鬼北町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	鬼北町税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	鬼北町分担金徴収条例の一部を改正する条例について	可決
議案第14号	鬼北町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決
議案第15号	令和5年度鬼北町一般会計補正予算(第8号)について	可決
議案第16号	令和5年度鬼北町用品調達特別会計補正予算(第2号)について	可決

議案第17号	令和5年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第18号	令和5年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第19号	令和5年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第20号	令和5年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第21号	令和5年度鬼北町水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
議案第22号	令和5年度鬼北町病院事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第23号	令和5年度鬼北町下水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第24号	令和6年度鬼北町一般会計予算について	可決
議案第25号	令和6年度鬼北町用品調達特別会計予算について	可決
議案第26号	令和6年度鬼北町国民健康保険特別会計予算について	可決
議案第27号	令和6年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計予算について	可決
議案第28号	令和6年度鬼北町介護保険特別会計予算について	可決
議案第29号	令和6年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計予算について	可決
議案第30号	令和6年度鬼北町水道事業会計予算について	可決
議案第31号	令和6年度鬼北町病院事業会計予算について	可決
議案第32号	令和6年度鬼北町下水道事業会計予算について	可決
諮問第1号	鬼北町人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第33号	令和5年度鬼北町一般会計補正予算(第9号)について	可決
発議第1号	鬼北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決



<史跡等妙寺旧境内平坦部A>



<鬼北町立広見中学校全景>

第2回定例会 議決結果(令和6年6月14日)

承認第2号	町長の専決処分（鬼北町税条例の一部を改正する条例）の承認について	承認
承認第3号	町長の専決処分（鬼北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）の承認について	承認
承認第4号	町長の専決処分（鬼北町介護保険条例の一部を改正する条例）の承認について	承認
承認第5号	町長の専決処分（鬼北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例）の承認について	承認
議案第34号	鬼北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第35号	鬼北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第36号	鬼北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第37号	工事請負契約（鬼北町立認定こども園ゆずっこ改築工事（建築工事））の締結について	可決
議案第38号	財産の取得について ＜消防ポンプ積載車：消防団第4分団第5部（川上）へ配備＞	可決
議案第39号	町営土地改良事業（かんがい排水・興野々地区）の施行について	可決
議案第40号	令和6年度鬼北町一般会計補正予算（第1号）について	可決



＜鬼北町立認定こども園ゆずっこ完成予想図＞

研修報告

令和6年度鬼北町議会議員研修会

令和6年6月27・28日の2日間、東京衆議院議員会館B1F第9会議室において、「ゼロカ-ボン政策の今後の取り組みについて」と題して環境省大臣官房地域脱炭素事業推進課から泉課長補佐、「相続放棄した空家、土地の問題について」は国交省から2名、法務省から1名来られ説明していただきました。

まず、ゼロカ-ボン政策については、指定避難所（公民館、学校等）を中心として公共施設の屋根や敷地等へオンサイトP P A形式による自家消費型の太陽光発電設備及び蓄電池を導入し、災害時におけるエネルギーの安定供給を図る鬼北町で推進している重点対策加速化事業等について、講義して頂きました。（オンサイトP P A形式とは：自社（当町）の敷地内に第三者であるP P A事業者が太陽光発電設備を導入し、P P A事業者に電気料金を支払うことで、そこから電力を調達する仕組み）

次に、相続放棄した空家と土地については、鬼北町内でも問題になっている倒壊空家問題について質問したところ、法改正に伴い所有者不明土地管理制度及び所有者不明建物管理制度を創設して土地・建物の効率的かつ適切な管理の実現を行い、所有者が特定できないケースについても対応可能にする法改正を行うとのことでした。

その他、当町の問題点等について予定している時間を過ぎても丁寧に回答いただき、有意義な時間を共有しました。

《総務産業建設常任委員会

委員長 芝 照雄》



鬼北町ゼロカーボンシティ宣言

近年、環境を取り巻く状況は大きく変化しており、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が増加しています。我が国においても、これまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑などによる被害が毎年のように発生し、平成30年7月豪雨では、鬼北町においても甚大な被害があり、私たちの身近な生活環境に様々な影響をもたらしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命から平均気温上昇の幅を2℃未満とする」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

このような中、鬼北町においても、再生可能エネルギー導入や鬼北町の豊かな森林・自然が調和した持続可能なまちづくりなど、脱炭素社会の実現に向けた取組みを積極的に進めていくことが急務であり、令和6年1月に策定した「鬼北町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」において、2050年までにゼロカーボンの実現を目指す町の将来像を定めました。

私たちは、先人から受け継がれた鬼北町の豊かな森林と清流、溪谷美に恵まれた環境や歴史・文化を次の世代へと引き継がなければなりません。強い決意のもと、鬼北町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現を目指し、町民、事業者、行政が協働して全力で取り組むことをここに宣言します。

令和6年3月8日

鬼北町長 兵頭誠也

令和6年度全国町村議会議長・副議長研修会

去る5月21日（火）「令和6年度全国町村議会議長・副議長研修会」が行われ、程内議長とともに参加しました。全国47都道府県から1,800名が、東京国際フォーラムに集い、3人の先生方から講義を受けました。

最初に、大正大学地域創生学部教授 江藤俊昭先生から『議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る』と題して講演されました。その中で議員のなり手不足の現状、原因、対策等について話され、女性議員を増やすための対策についても講義されました。

次の『ハラスメントー自治体議員が注意すべきポイント』と題して、弁護士の帖佐直美先生から講演をいただきました。

ハラスメントとは、優越した地位や立場を利用した嫌がらせであり、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント、モラルハラスメント、ジェンダーハラスメントなど様々な事例を紹介して話され、ハラスメントは相手を傷つけるだけでなく、議員自身、ひいては議会全体の社会的信用を大きく損ねることを強調されました。

最後に、『将来の地方議会を担うのは誰か？』と題して、慶応義塾大学法学部政治学科教授：谷口尚子先生から講演をいただきました。

地方議員職に興味がある人は、約20%（男性25%、女性15%）であるが、男性は経済的要因、女性は現在の生活との擦り合わせが障害になっており、多様な人材が立候補しやすいよう、費用や時間などのコスト的なこと、家族への迷惑等リスクもあり、これらを乗り越えるための知恵や工夫、支援などの環境整備も必要であると話されました。



今回3人の先生方から講義を受けて、それぞれに身近な内容ばかりでしたので、今後の議会活動、議員活動に十分に活かして参りたいと考えている
鬼北町議会 副議長 末廣 啓

議会活動報告

令和6年1月1日～令和6年6月30日

月 日	会 議 事 項	主 な 協 議 内 容
1 9	第1回議会広報常任委員会	原稿の校正について 他
2	第1回議会運営委委員会	第1回臨時会の運営について
	第1回鬼北町議会臨時会	議案7件、承認1件、同意1件
	第1回全員協議会	認定こども園ゆずっこ改築工事について 他
	第2回議会広報常任委員会	原稿の校正について 他
	19 第2回全員協議会	北宇和高校寮について 他
	第3回議会広報常任委員会	掲載記事について 他
	29 第2回議会運営委委員会	第1回定例会の運営について
第3回全員協議会	鬼北町病院経営強化プランについて 他	
3	7 第1回鬼北町議会定例会（1日目）	議案16件
	8 第1回鬼北町議会定例会（2日目）	議案9件、諮問1件
	第4回議会広報常任委員会	掲載記事について 他
	12 第1回予算常任委員会	令和6年度当初予算審議
	13 第2回予算常任委員会	令和6年度当初予算審議
	14 第3回予算常任委員会	令和6年度当初予算審議
	25 第3回議会運営委員会	第1回定例会の追加議案の取扱いについて
	第1回鬼北町議会定例会（最終日）	議案10件、発議1件
4	18 第4回全員協議会	鬼北町特別職報酬審議会の答申について 他
	24 第4回議会運営委員会	議会広報常任委員会委員の辞任について
	松野町議会先進事例研修受入	議員報酬について
5	13 第5回全員協議会	多世代交流施設整備事業について 他
	16 区長・組長会（日吉地区）	令和6年度施政方針について
	17 区長・組長会（近永地区）	各課等の連絡事項について
	18 広見中学校新校舎落成式	
	21 全国町村議会議長・副議長研修会	東京都
	22 区長・組長会（泉地区）	令和6年度施政方針について
	24 区長・組長会（愛治地区）	各課等の連絡事項（被災地支援の報告・健康診断等の補助事業・鬼北町ゼロカーボンシティ宣言・耐震改修に係る補助制度等）について
	27 区長・組長会（好藤地区）	
28 区長・組長会（三島地区）		
6	6 第5回議会運営委員会	第2回定例会の運営について
	第6回全員協議会	
	14 第2回鬼北町議会定例会	承認4件、議案7件、
	18 議会広報常任委員会	
	27 28 令和6年度鬼北町議会議員研修会	東京都



議会を傍聴しませんか

※ 鬼北町の定例会は3月、6月、9月、12月です。町の定時放送で日時をお知らせしていますので、町民の皆様のお傍聴をお待ちしています。(ケーブルテレビでも中継放送されています。)



<予土線PRポロシャツ>



今月の表紙



<鬼北町立広見中学校体育館>

- 体育館屋根の小屋組は、県産材の杉を使用した集成材で木造トラスを組んでいる。
- 緞帳は、『未来へ』をテーマとして、広見中学校の教育目標である「若さあれ！力あれ！友情あれ！」を抽象的に表現している。若さを連想する新緑や、未来に向かって羽ばたくイメージを、全体の流れで構成。輪を繋げた表現は、力強さや友情の結束力を表し、色彩は、広見中学校の周りがある自然豊かな風景から着想を得ている。



議会広報常任委員会
 委員長 松浦 司
 副委員長 高橋 聖子
 委員 赤松 俊二
 委員 兵頭 稔

『鬼北町議会だより』第6号の発刊にあたり、議会広報常任委員会の活動報告をいたします。

当委員会では、月1回のペースで委員会を開催し、協議・編集を行っています。発刊を年4回の将来目標で、今年度は前期・後期の2回とし、順次増やしていく計画です。

当委員会では、他町の議会・議会の取り組みや議会だよりの発行について先進地視察を予定しています。今後も勉強を重ね、中身の充実した『議会だより』が発行できるよう努力しています。広く町民の皆様の声も取上げ、活動に生かしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご質問・ご要望等をお寄せください。

議会広報常任委員長 松浦 司

編集後記